

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスりあんず		公表日	令和7年1月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	パーティションなどを使用し、学習に集中しやすい環境などに配慮している。	空間仕切りなど、個別対応の環境は改善必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	状況に応じて職員数を調整して対応している。	数はある程度適切とは思いますが、性別に関しては不適切なことが多々ある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	玄関の段差に対し、踏み台を置き上り下りしやすいようにしている。	玄関の段差が高い、所々の段差で躓きやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	日々、訓練室やトイレ、おもちゃ、車などの掃除を行い、清潔を保つよう努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	体調不良時や不安定な場合には、静養室、スタッフルームを使用することがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	日々、ミーティングの時間を設け、振り返りと支援の方向性について話し合いをしている。	自分自身のことでいうとできていないこともある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	保護者向け評価表を職員全員に回覧し、業務改善に向けた話し合いの場を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	日々のミーティングで職員の意見等を把握する場を設けている。	意見等の機会はあるが、改善には時間を要している。パートスタッフとの意見交換の場が個別にしか取れていない。話がしやすい環境を作ってくれている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		現在、第三者による外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	事業所内の勉強会、外部研修とその伝達、法人全体の研修会に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2		HPに公表しているが、具体的な内容が載せられていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	6	1	6ヶ月に1度は、児童発達支援管理責任者との面談の場を設け、ニーズや課題を分析し計画の見直しを行っている。	アセスメント・モニタリングをもっと充実させる必要がある。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	児童発達支援管理責任者の行ったモニタリングや評価をもとにミーティングで話し合い、支援の共通理解に努めている。	未回答1 職員共有理解等の機会には参加していないので回答不可 ミーティングが主になっているため、個別のケースカンファレンスの機会が必要。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	計画書は職員間に共有し、計画に沿った支援を日々のミーティングで検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	4	日々の行動観察の記録を行っている。	フォーマルなアセスメントツールを用いて客観的なアセスメントをする必要がある。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		移行支援・地域支援・地域連携については具体的な内容が落とし込めていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	何をするかスタッフ同士で話し合っ工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	同じ曜日に同じ内容にならないようにしている。 イベントも少しずつ変化を加えている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	6	1	個々に応じて、個別・集団活動の関わりの中で支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	ミーティングで検討している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	翌日に支援の振り返りを行い、支援方法の検討など情報共有をしている。	祝日や長期休みなどは振り返りの時間が取りにくい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	6ヶ月で実施している。	短期間での必要を感じるが、日々の業務に追われてできていない。
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	6	1		③の地域交流の機会の提供はもう少し広げたい。
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	なるべく自己決定を尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	関係機関とは対面、電話、メールなど必要に応じて行っている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		必要に応じて、助言を受ける機会を設けていきたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		現在のところ、積極的な交流の機会はない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や連絡帳、電話を使用して、適宜状況を伝えるよう努めている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		現在のところ、家族支援プログラムは行っていない。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】 （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校によって対応が違うが、少しずつ連携しやすくなってきている。	
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	場合によって情報共有の機会を作ってもらっている。	
39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		未回答1 必要に応じて、情報提供をしている。		
40	【放デイのみ】 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		未回答1 分かりません1 積極的に参加している。		

保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行っている。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		未回答1 面談時や日々の関わりの中で、意向を確認する機会を設けている。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	個別支援計画更新時の面談で、支援内容について説明を行い、同意を得ている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	個別支援計画更新時や連絡帳、電話でのやり取り、その他必要に応じて面談を実施している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		令和7年度開催に向けて、準備を進めていく。
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談や苦情、申し入れがあった場合は管理者に報告し、迅速かつ適切に対応していく。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	引き続き、りあみずだよりにて活動内容等を発信していく。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人の記録などは鍵付きの書庫で管理し、個人が特定できる書類の破棄に関しては、シュレッダーをしている。	
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	必要に応じて面談、電話等で意思の疎通を行っている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		地域住民を招待したことはない。
51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じて面談や助言、相談支援専門員と連携して解決に向けて支援を行っている。		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルについては策定しており、法人の研修会への参加も実施している。	各マニュアルの家族への周知方法を検討している。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	年2回、防災訓練を実施し、その様子をりあみずだよりにて報告している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	契約や面談時に状況を確認している。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	指示書なし、アレルギーのある利用者については除去しておやつを出している。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	未回答1 今年度よりBCPを策定した。	
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	未回答1 契約時、面談時に安全計画についての説明を行っている。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット提出後、職員間で共有し再発防止に向けた話し合いの場を設けている。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年3回程度の研修を実施し、虐待防止委員会において支援の振り返りを行い適切な対応に努めている。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	個別支援計画更新の面談時などに必要に応じて、説明・同意を得て記載している。	